

当日、伝統衣装ヴィシバンカと頭飾りのヴィノクを展示します！



ウクライナの現地の声 ～戦火の女性や子どもたち～

映像ジャーナリストの玉本英子さんは今年5月、6月とウクライナへ入りました。上の写真は学校のダンス発表会で、伝統衣装ヴィシバンカを着た児童です。頭には花飾りのヴィノク。笑顔がかわいい子どもたちですが、つねに戦争と隣り合わせの日常があります。今、ウクライナで何が起きているのか。玉本さんの取材映像とともに現地の状況を聞き、私たちにできることを一緒に考えます。

- ◆ 日時 7月21日(金) 10時～11時30分
- ◆ 会場 若竹生活文化会館 講堂 (西宮市西福町15-12)
- ◆ 申込 1) インターネット申込 (右のQRより)
2) ハガキ申込
(名前・住所・連絡先・催し名を記入し西福町5-12へ郵送)
- ◆ 申込期限 7月11日(火)まで

*応募多数の場合は抽選。定員50名予定。

申込用QR



◁ウクライナ南部ミコライウにて玉本さん現地取材
(2022年8月)

～玉本英子さんプロフィール～

東京生まれ。デザイン事務所勤務を経て1994年よりアジアプレス所属。中東地域を中心に取材。

アフガニスタンではタリバン政権下で公開銃殺刑を受けた女性を追い、2004年ドキュメンタリー映画「ザルミーナ・公開処刑されたアフガニスタン女性」監督。イラク、シリア、ウクライナ、トルコ、レバノンほか軍政下のミャンマーを取材。

主催／問い合わせ先：西宮市市民局 人権教育推進課 (TEL：0798-67-0075)

共催：西宮市若竹生活文化会館 協力：西宮市人権・同和教育協議会、西宮市PTA協議会

